



## 平和と暮らしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F  
TEL 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>  
e-mail : [koe@siminnokai.com](mailto:koe@siminnokai.com)



## ロシアのウクライナ侵略反対 平和ネットが緊急行動

「ロシアは2月24日、一方的に「独立」承認したウクライナの東部地域にロシア軍を侵入させるとともに、ウクライナ各地の軍事施設、キエフ、オデッサなどへの攻撃を始めました。これはウクライナの主権と領土を侵し、国連憲章、国際法を踏みにじる、まぎれもない侵略行為であり、断固糾弾する。ただちに軍事行動をやめ、撤退させることを強く求めます。国際社会が、ロシアのウクライナ侵略反対の一点で団結し、侵略をやめさせることです」。

「平和をあきらめない北九州ネット」が2月27日(日)14時から緊急に呼びかけた「戦争反対!のスタンディング行動」には、100名を超える広範囲の市民が駆けつけました。手作りのプラカードやロシア語で戦争反対と書かれた大看板などが目立ち、多くのマスコミも取材に入りました。

## 世界で抗議 ベルリン10万人今すぐ戦争やめて

世界各地で2月27日、ウクライナへのロシア侵略を非難し、ウクライナに連帯する集会・デモが行われました。

ベルリンでは、労組、平和団体などの呼びかけで、10万人以上の市民が市中心部の通りを埋め尽くしました。参加者は「戦争をやめろ」「ウクライナから手を引け」などのプラカードを掲げて行進しました。

ワシントンでは、ホワイトハウス前でウクライナ系米国人や米国市民ら数千人が集まり、ロシアの侵略を非難しました。

カナダの最大都市トロントでは、数千人がデモ。ジョン・トーリー市長は「(ロシアの) 巨大な残虐行為に対し、立ち上がってノーというときだ」と演説しました。1968年にソ連などの軍隊に侵攻されたチェコでは、首都プラハ中心部のパツラフ広場に、市民約8万人が集まりました。フィアラ首相が演説し、「自由と民主主義を圧殺するために他国に侵入した戦車に、断固とした対応を取らなければならない」と述べました。

デンマークのコペンハーゲン、スペインのマドリード、ポルトガルのリスボン、イタリアのローマなどでデモ、集会が行われました。

ロシア国内でも、当局の激しい弾圧に抗して、首都モスクワやサンクトペテルブルクなど48都市で反戦行動が行われました。

(3月1日しんぶん赤旗より)

## 平和ネットが19日定例街宣行動

「平和をあきらめない北九州ネット」毎月行動が2月19日(土)14時から15時30分まで行われました。

参加者はいつもの月と違い、50人を超える参加で、寒くて雨も降っていましたが最後まで元気に、リレートークにチラシ配布、署名の集約に頑張っていました。

リレートークは、真島日本共産党参議院福岡選挙区予定候補、前田憲徳代表委員、愛女性の会、新日本婦人の会、社民党志岐玲子氏、ユニオン副代表、ユニオン北九州本村委員長、北九州地区労連永吉副議長が次々にマイクを握り、岸田政権の危険な動きについて触れ、憲法改悪を止めさせるための新しい署名にご協力をと訴えました。

雨も降り、署名の集約はむづかしい状況でしたが、いつもよりたくさん集約されました。(堀田和夫氏 FB より)



リレートークで憲法改悪ストップを訴える真島参院選予定候補(左)

## 大幅賃上げ・底上げで 安心して暮らせる春闘を

2022年北九州春闘共闘連絡会と北九州地区労連は、2月22日(火)、2022年春闘要求前進をめざす地域総行動を展開しました。北九州市雇用政策課、北九州市教育委員会、港湾空港局、北九州商工会議所等に全労連統一要請書及び独自要請書を提出し終日行動しました。

オミクロン株によるコロナ感染者が爆発的増加し蔓延防止措置が延長されている中での行動となり、要請先からはコロナ対策として参加人員の制約もありましたが、エフコープ生協労組、健和会労組、北九州市職労、北九州地域ユニオン、学嘱労、ポポロ労組 JMITUTOTO 支部・安川合同支部から延べ24人の組合員が参加し要請行動、宣伝行動を成功させる事が出来ました。

北九州市当局に対する要請は、コロナ禍で深刻な影響を受けている労働者への対策が急がれる事、特に市民生活を支える医療・介護・清掃・交通・流通・飲食などで働く女性・非正規労働者を中心に雇用と賃金への不安が高まっていると訴えました。誰もが人間らしく暮らせる賃金として、全国一律最低賃金制度を確立し、時給1500円の実現、自治体が発注する公共調達や公共工事などで公正な賃金を保障するために公契約条例制定の必要性、いのちまもる医療・公衆衛生体制の拡充など切実な要求実現に取り組むべきと、強く要請しました。

(堀田和夫氏 FB より)



北九州市当局と交渉する共闘連絡会、地区労連のメンバー(左列)

## 北九州市議団と懇談

2月16日、市民の会は共産党北九州市議団と懇談を行いました。三輪事務局長から市長選挙への政策委員会設置や各区民の会からの現状が報告されました。荒川市議団長は北九州市のコロナ対策、2022年度予算議会への議会質問などについて報告し懇談。区域区分の逆線引き白紙撤回や高齢者の足の確保の要求実現やヤングケアラーやワクチン接種の遅れなどの質問が出され、議員からは意見や要望を活かした議会論戦を行っていくことを約束しました。また、市長選に向けて区民の会の活動をさらに促進するために市会議員の協力を要請して終わりました。



3月11日(金)は、東日本大震災と東京電力福島第1原発事故から11年です。原発事故は依然収束していません。放射能汚染の影響によって福島県ではいまでも多くの人が避難を続けています。

避難指示の解除を進める一方、住民の求める「全域の除染」に応じない政府に不信が募っています。「風評被害」を懸念する漁業関係者との約束を守らず、汚染水の海洋放出計画を進めることは、復興への障害です。福島の置かれている現状は、原発がひとたび重大な事故を起こせば、いかに長期にわたって広い地域にはかり知れない被害を及ぼすかを示しています。「原発ゼロ」の日本の実現は急務です。

「さよなら原発!北九州の会」は、毎週金曜日にさよなら原発!金曜行動を続けています。3月11日の「454回金曜行動」は、「3.11 さよなら原発!北九州集会」として、時間を延長して取り組みました。130人が参加しました。ロシア軍のウクライナ侵略で原発施設が攻撃されたことを受け「止めて!原発への攻撃」といったプラカードを手にした参加者もいました。

ウクライナ侵略

原発への攻撃やめろ

3・13 命と暮らしを守る福岡県下一斉行動

3月13日(日)14時から、JR小倉駅南口広場で、「平和をあきらめない北九州ネット」は、福岡県総がかり実行委員会が提起した「3・13 命と暮らしを守る福岡県下一斉行動」に呼応して、定例行動に取り組みました。



100人を超える参加で大きな成功を勝ち取ることが出来ました。政党代表、女性団体、労働組合などが次々にマイクを握りロシアのウクライナ侵略を糾弾し、便乗して憲法改悪の動きを強める改憲勢力の動きを許さない取り組み強化を訴えていました。

なお、3月19日(土)は14:00~15:00、小倉駅にて定例19日街宣行動に取り組みます。

2023年北九州市長選挙  
政策づくりにむけて懇談会スタート

「市民の会」が地区労連と懇談会

3月8日(月)、北九州市民の会は、北九州地区労連と来春たまたかわれる北九州市長選挙について、懇談会形式で意見交換を行いました。



地区労連幹事会開会前30分の時間を取って行いました。市民の会からは三輪事務局長、小林事務局次長、原田事務局員の3人、地区労連からは永富議長以下11人が参加しました。

三輪事務局長から、北橋現市長が来春の市長選挙不出馬を表明したことなど市長選をめぐる情勢、市民の会の取り組み状況などについて報告、真摯に意見交換が行われました。「市民の会」は、今後、精力的に市内民主団体との懇談会を進めていきます。

定例の企画運営委員会開かれる

奇数月の第3火曜日18:30は、2か月に一度の市民の会企画運営委員会が定例で開かれます。3月15日(火)18:30~20:00 戸畑生涯学習センターで、定例の企画運営委員会開かれ、北九州市長選挙の取り組みなどについて協議しました。区域区分見直し問題の区民意見交流会(第3回)が以下の日程で開催することも決めました。ご参加ください。

●4月23日(土)13:30~15:30 若松ポート内、クレカ若松

区域区分見直し問題 第4弾NEWS

おかしいぞ! 北九州市の逆線引き

戸畑区「牧山に住み続けたい」ノボリ旗はためく公園で3/6決起集会 140人参加

3月6日、戸畑区の逆線引き対策連絡会議は、牧山地域において、市がすすめる市街化調整区域編入に対して白紙撤回をめざす決起集会を地元牧山公園で行ない、140人が参加しました。

対策会議の横田会長は挨拶で、「市の建築都市局計画課は、『災害の危険性や人口減、交通の不便地を市街化調整区域に編入する』と説明、牧山地域はまったくこれにあてはまらず、実施されたら大変なと思う、関係地域のみなさんにお知らせすることからはじめました。次に、市の説明会への参加の呼びかけや市議員さんへの協力要請、戸畑区長への白紙撤回のお願いをしました。

さらに市議会への陳情署名では831名集めることができ、「牧山に住み続けたい」のノボリ旗とポスターを作って宣伝などの取り組みをすすめました」と報告。

戸畑区選出の市議、荒川、岡本、田中各議員もそれぞれ挨拶を行いました。市街化調整区域の候補地の住民を代表して2名が「交通の便はいい、災害もないのに、市はなぜ市街化調整区域にするのか理解できない、白紙撤回を求めてがんばろう」と、決意表明を力強く行いました。その後、ノボリ旗、ポスターの張り出しについての説明をうけ地域行動を行いました。



公園のまわりにはオレンジのノボリ旗50本立てでの集会参加者

ストップ! 区域区分見直し交流 NEWS④ 平和と暮らしを守る北九州市民の会 小倉北区田町13-21 093-592-5000

北九社保通信 コロナ緊急相談会

北九社保協通信

報告・資料集 2022年2月号  
2月28日 事務局発行

「コロナ緊急ホットライン(第12弾)」を実施!  
県外含め48件の相談。生活困窮続く人々が多数...



NHKの全国ニュース放映後、一斉に鳴り出した相談電話に対応する相談員の皆さん

長引くコロナ禍...12回目の相談会

2020年4月に全国で初めて取り組みを開始してから約2年が経過し今回、12回目となる「コロナ災害を乗り越えるなんでも電話相談会」を2月19日(土)に実施しました。1回目から途切れることなく連続して取り組んでいるのも毎回、社保協加盟各団体から有志が相談員としてボランティア参加していただいているおかげです。そして各分野のスペシャリストが多種多様な相談に対応していただけるのは本当に心強い限りです。さて、今回は地元新聞2社が事前告知記事を書いてくれたものの、当日のマスコミ取材はなく相談件数も少ないかと思われましたが、昼のNHK全国TVニュースの放映後、一斉に電話が鳴りだし4台の電話はあった言う間に埋まり結局、20時の終了時点まで電話は鳴り続け、県外からの相談も含め48件と多くの相談が寄せられました。

困窮状態から抜け出せず...いよいよ限界 今回の特徴としてはこの間、様々な支援策や給付金を活用して何とか生活してきたが、いよいよ限界になっての相談やまた、脆弱な支援策や感染対応に伴う新たな影響などでの相談が幅広い年齢層から多数ありました。一例をあげると「飲食業で働いているが、度重なる緊急事態宣言や蔓延防止措置の影響で店がまともに営業で

きず、給与が激減。蓄えも底をつき今後の生活が出来ない」「2度も家族が交互に陽性者。濃厚接触者で自宅待機を余儀なくされ、仕事が出来ず収入が減った」「勤務している保育園がコロナで閉園に。給与保障などが心配」「コロナの影響で失職。仕事探してもコロナ禍でなかなか見つからない」「介護保険を利用しているが、感染拡大でヘルパーが来れなくなった。独り身で身内もなく生活に困っている」また、「非課税世帯なので特別給付金の支給対象なのだが、未だに行政から何も連絡がない。早く支給してもらわないと困る」など新たな困難事例もあり、あらためて国の無為無策を実感させられました。十分なコロナ対応を求めていく運動とともに困窮する方々を1人でも多く救うべく今後も相談会を継続して実施していきたいと思えます。

今後の相談会予定

「生活保護110番」(無料)

093-562-3966、3967

5月17日(火)10時~17時